

平成 21 年 1 月 30 日

アサヒプリテック株式会社
代表取締役社長 寺山 満春

株主の皆様へ

当社は本日付で、平成 21 年 3 月期の第 3 四半期決算を公表するとともに、今期の通期業績予想を修正しました。なお、3 月末時点での当社取扱い金属の市場価格がどうなるかによって評価損を含む今期末最終損益の結果は大きく変化することもあります。

創業時を別とすれば、単年度の赤字決算は初めてのことであります。このように大幅な下方修正予測をするに到ったことについて、株主の皆様方には誠に申しわけなく思っております。

今期の業績悪化の主な理由は、①当社が取り扱うすべての金属価格が急激に下落したこと、②金属価格の下落があまりにも急激であったため、抑止力としてのヘッジが十分な効果を挙げられなかったこと、またロジウムやインジウムのようなヘッジできない金属の価格も大きく下落したこと、であります。また前回予想を修正するに至った主な理由は、①下期においても金属価格の下落がさらに続いたこと、②下期からほとんどすべての顧客業界での生産活動低迷により金属原材料および産業廃棄物の入荷量が想定を超えて減少したこと、であります。

今後の損益対策として、①採算性を基準とした取引の選別、②ヘッジ機能の強化、③役員年間賞与の見送りと役員月額報酬 10～50%削減、④設備投資の延期又は削減、⑤全経費の見直しによる経費削減、を実施します。

経済情勢は依然として悪化しており、来期以降も厳しい経営環境が続くと想定しておりますが、今期の赤字決算は、低価法による評価損の影響が大きかったと認識しており、今後、金属価格のさらなる下落がなければ、低価法による損益への影響はほぼ無いと予測するため、来期からは「V字型」の業績回復を目指すことができると考えております。このような考え方から、今期の配当は 50 円を維持し、来期以降も目標利益を確保できれば 50 円配当を継続したいと考えております。

本年 3 月下旬には、中期的な業績目標を含めた第 5 次中期経営計画を発表する予定です。本経営計画に沿って、役員・社員が一丸となり、全力で難局に立ち向かいますので、今後とも株主の皆様のご継続的なご支援をお願いいたします。